

株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	毎年10月開催
基準日	定時株主総会 毎年7月31日 期末配当金 毎年7月31日 なお、中間配当を実施する時の基準日は1月31日 その他必要のある時は、予め公告して定めます。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日綱町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	住所変更等用紙のご請求 0120-175-417 その他のご照会 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/ STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国本支店
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載して行います。 (電子公告掲載URL http://www.shouken.co.jp/) ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
1単元の株式の数	1,000株
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
証券コード	7850

お問い合わせ

総合商研株式会社 企画管理本部
〒007-0802 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号
電話:011-780-5677(代表)
<http://www.shouken.co.jp/>



総合商研株式会社

SOUGOU SHOUKEN



株主・投資家の皆様へ

第36期 中間ビジネスレポート

平成18年8月1日～平成19年1月31日

 総合商研株式会社

株主の皆さまへ

To our shareholders



代表取締役会長 加藤 優



代表取締役社長 片岡 廣幸

「変革と挑戦」をテーマに、さらなる成長を目指します。

株主の皆さまには、平素より当社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

ここに、第36期中間(平成18年8月1日～平成19年1月31日)ビジネスレポートをお届けするとともに、日頃の温かいご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当中間期における我が国経済は、企業収益の改善と設備投資の増加により、回復基調で推移し、今後とも民間需要を中心に景気回復が続くと予想されます。

また、当社の位置する広告・印刷業界におきましては、SP(販売促進)広告が3年連続して増加する等の好要因はあるものの、インターネット広告の拡大、費用対効果を追求した販促媒体の多様化やメディアミックス等、広告形態も大きく変化しつつあります。

この様な環境の中、当社は、「変革と挑戦」をテーマに当社の販促支援機能を最大限活用した「営業力の強化」とコスト削減による「収益力の強化」をすすめてまいりました。

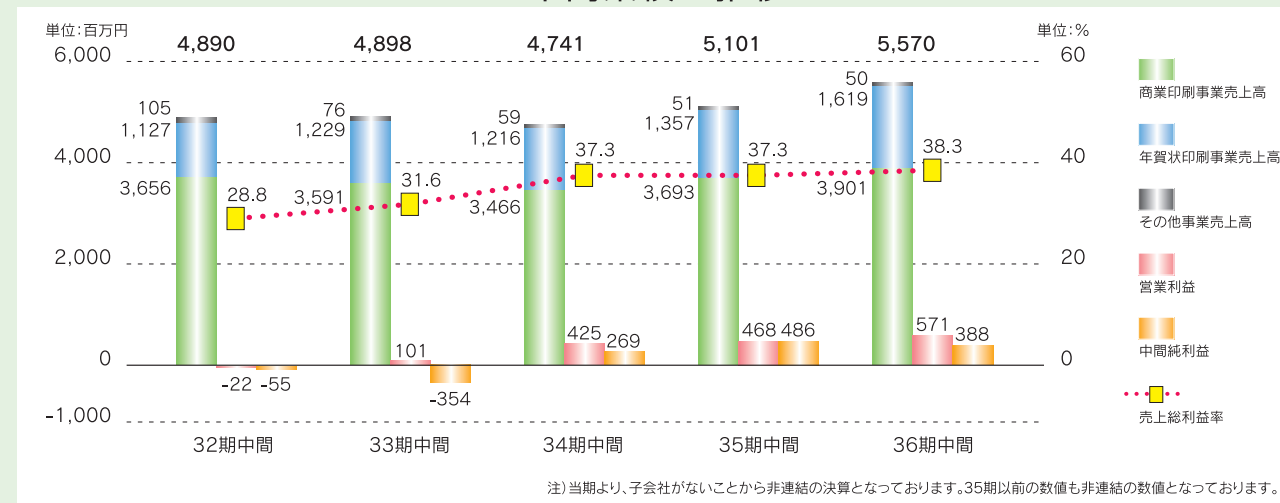
その結果、当中間期の売上高は5,570百万円(前年同期比469百万円増)と9.2%の増収となりました。また、経常利益は543百万円(前年同期比129百万円増)と大幅な増益となりました。中間純利益は、法人税等の計上149百万円により、前年同期比98百万円減となったものの、388百万円の実績を確保することができました。

第36期下期につきましては、当社の販促支援機能を更に強化・活用した事業展開を進め、業績推進に取り組んでまいります。

株主の皆さまには、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年4月

中間業績の推移



当中間期は、成長基盤の確立、事業規模の拡大、競争力の強化を目標に、次の施策に取り組んでまいりました。

- ・ 販促支援機能の拡充と強化
- ・ 当社の販促支援機能を最大限活用した企画提案営業
- ・ デザイン力の高度化と内制化促進に向けた体制強化
- ・ 徹底したコスト削減
- ・ 有利子負債の削減と財務体質の強化

その結果、新規開拓と既存先の取引拡大が順調に進展したことにより、売上高は、前年同期に比べ9.2%増加の5,570百万円(前年同期比469百万円増加)と増収となりました。

事業部門別の売上高実績は次のとおりとなっております。

- 商業印刷事業 3,901百万円(前年同期比207百万円増加)
- 年賀状印刷事業 1,619百万円(前年同期比262百万円増加)
- その他事業 50百万円(前年同期比1百万円減少)

また、外注を伴う印刷物は増加したものの、生産効率の向上

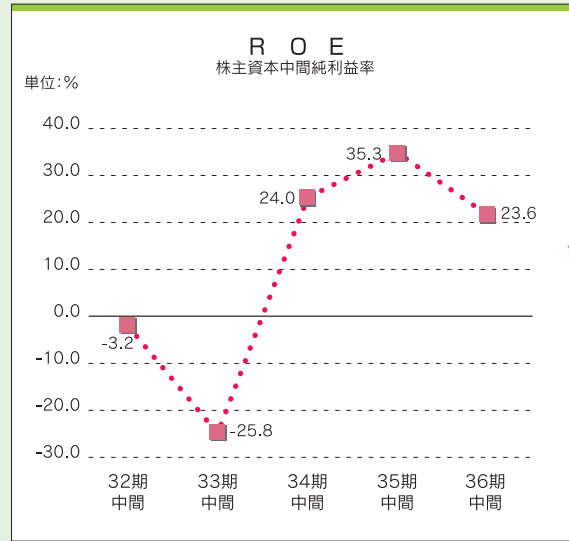
とコスト管理を徹底した結果、売上総利益率は37.3%から38.3%へと1.0%アップし、売上総利益は2,134百万円(前年同期比231百万円増加)となりました。

販売費及び一般管理費については、営業担当やデザイナー等の増員に伴う人件費等の増加はあったものの、営業利益は571百万円(前年同期比102百万円増加)となりました。

営業外損益では、有利子負債の圧縮により、支払利息が前年同期に比べ19百万円削減となり、経常利益は、543百万円(前年同期比129百万円増加)となりました。

中間純利益については、法人税等の計上が、149百万円、税効果会計による法人税等調整額18百万円の取崩により388百万円(前年同期比98百万円減少)となりました。

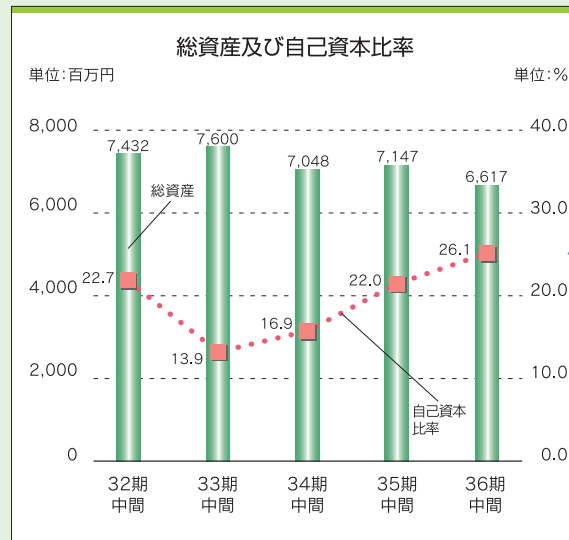
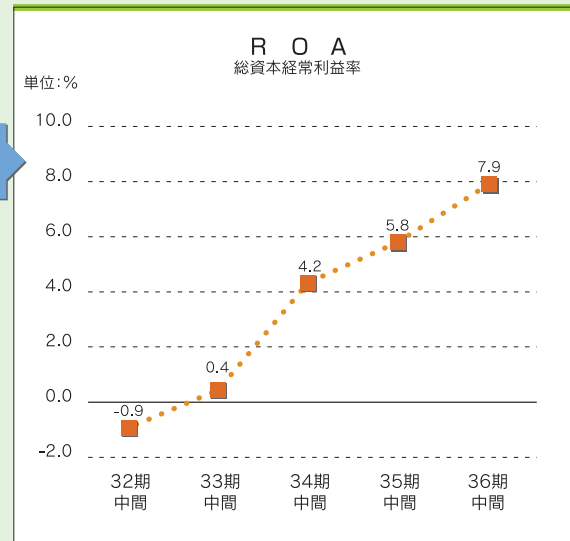
第36期通期の業績は、売上高9,250百万円、経常利益370百万円、当期純利益285百万円と予想しており、今後も一層の業績向上に取り組んでまいります。



ROA
7.9%

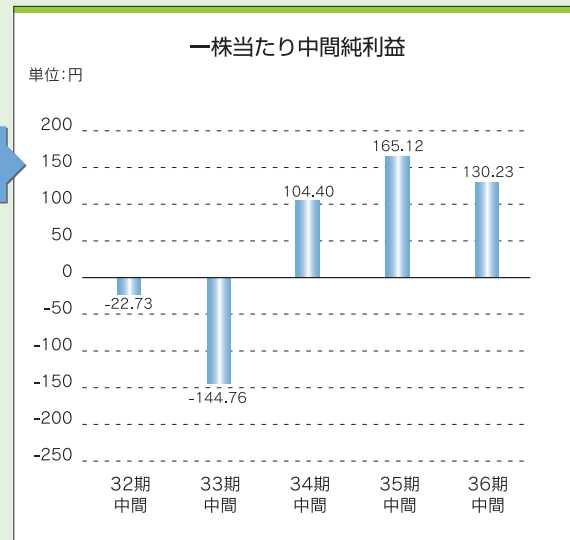
ROE
23.6%

36期中間実績



一株当たり
中間純利益
130.23円

自己資本比率
26.1%



第36期上期トピックス

名入れ年賀状の取扱件数が5年連続増加

年賀状印刷事業は、新規取引先の拡大と取扱店舗の増加により、名入れ年賀状の取扱件数が778千件と前期比23.4%アップし、5年連続の増加となりました。売上高につきましては前期比262百万円増の1,619百万円となっております。来期も更なる受注拡大をすすめてまいります。

営業企画部門の拠点別の体制強化

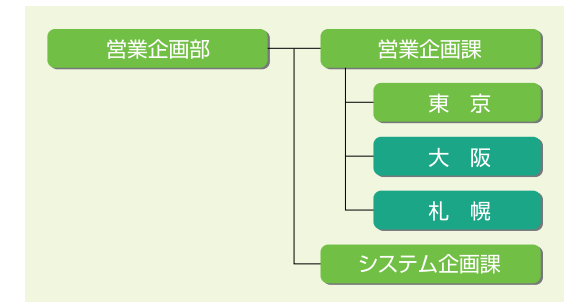
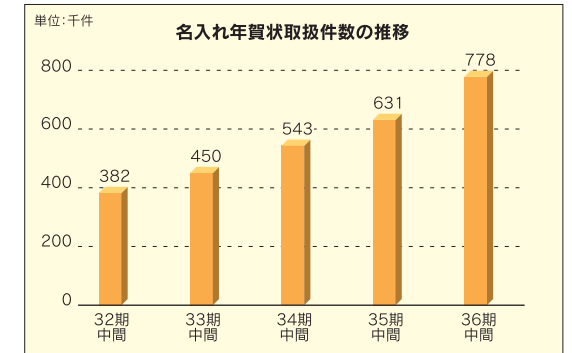
東京支社に設置している営業企画部について、お取引先に対する販売促進支援と企画提案を強化するために、平成19年1月に大阪支社に、同2月に札幌本社内に人員を配置し、同部の体制の拡充をすすめております。

今後は、同部門の体制と機能強化を更にすすめ、全社の営業基盤の拡大を図ってまいります。

地域新聞「ふりっぱー」の配布地域拡大

地域新聞「ふりっぱー」は、「地域密着」そして広告主と消費者を結ぶ新しい情報誌として、平成18年6月に札幌白石版を創刊し、現在では白石版・豊平版・厚別版の3版合計で25万部を発行しているフリーペーパーです。よくある「ご自由にお取り下さい」的な方法ではなく、配布エリア内のすべてのご家庭や職場のポストに「ふりっぱーメイト」が直接お届けしています。

▶ふりっぱーメイトとは「ふりっぱー」が独自に組織したスタッフのことです。ポスティングのほか、マーケティングや封入作業なども行っています。



中間貸借対照表

単位(百万円)

	前中間会計期間	当中間会計期間		前中間会計期間	当中間会計期間
	平成18年1月31日現在	平成19年1月31日現在		平成18年1月31日現在	平成19年1月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	3,466	3,162	流動負債	3,812	3,022
現金及び預金	784	837	支払手形及び買掛金	935	948
受取手形及び売掛金	1,944	1,596	短期借入金	2,045	1,100
たな卸資産	173	178	一年内返済予定長期借入金	484	491
繰延税金資産	118	23	その他	347	482
その他	462	552	固定負債	1,765	1,867
貸倒引当金	△ 18	△ 26	長期借入金	925	1,181
固定資産	3,681	3,454	長期設備未払金	748	686
有形固定資産	2,388	2,264	繰延税金負債	91	-
建物	861	816	負債合計	5,577	4,889
機械及び装置	368	285	資本の部		
土地	970	970	資本金	394	-
その他	188	192	資本剰余金	423	-
無形固定資産	299	267	利益剰余金	618	-
投資その他の資産	993	921	その他有価証券評価差額金	134	-
投資有価証券	605	528	自己株式	△ 1	-
破産更生債権等	406	411	資本合計	1,569	-
繰延税金資産	-	17	負債資本合計	7,147	-
その他	391	350	純資産の部		
貸倒引当金	△ 409	△ 386	株主資本	-	1,652
			資本金	-	411
			資本剰余金	-	441
			利益剰余金	-	800
			自己株式	-	△ 1
			評価・換算差額等	-	74
			その他有価証券評価差額金	-	74
			純資産合計	-	1,727
資産合計	7,147	6,617	負債純資産合計	-	6,617

中間損益計算書

単位(百万円)

	前中間会計期間	当中間会計期間
	自平成17年8月1日 至平成18年1月31日	自平成18年8月1日 至平成19年1月31日
売上高	5,101	5,570
売上原価	3,198	3,435
売上総利益	1,903	2,134
販売費及び一般管理費	1,434	1,563
営業利益	468	571
営業外収益	15	21
営業外費用	70	49
経常利益	413	543
特別利益	50	38
特別損失	95	25
税引前中期純利益	369	556
法人税、住民税及び事業税	1	149
法人税等調整額	△ 118	18
中間純利益	486	388
前期繰越利益	59	-
中間未処分利益	545	-

会社概要 (平成19年1月31日現在)

商号	■ 総合商研株式会社
本社所在地	■ 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号
設立	■ 昭和47年12月18日
資本金	■ 411,920千円
従業員数	■ 284名
主要事業	■ 商業印刷事業 年賀状印刷事業 その他事業
事業所	■ 本社、東京支社、大阪支社 旭川営業所、仙台営業所、 名古屋営業所、和歌山営業所
工場	■ 本社工場、白石工場、厚木工場、大阪工場
関連会社	■ 株式会社味香り戦略研究所

取締役・監査役 (平成19年3月31日現在)

代表取締役会長	■ 加藤 優
代表取締役社長	■ 片岡 廣幸
取締役	■ 原田 正之 菊池 健司 高谷 真琴
常勤監査役	■ 大居 啓子
監査役	■ 長谷 勲 西岡 誠

注) 長谷勲氏および西岡誠氏は社外監査役であります。

株式の状況

発行する株式の総数	■ 8,000,000株
発行済株式の総数	■ 3,060,110株
株主数	■ 422名

※当社は自己株式1,500株を保有しており、上記株主数に含んでおりません。

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
加藤 優	■ 746	24.41
株式会社小森コーポレーション	■ 180	5.88
大日精化工業株式会社	■ 180	5.88
総合商研従業員持株会	■ 161	5.28
株式会社光文堂	■ 100	3.27
小松印刷株式会社	■ 100	3.27
志田 秋子	■ 73	2.39
日藤ホールディングス株式会社	■ 70	2.29
東京インキ株式会社	■ 63	2.06
奥山 裕三	■ 50	1.63
株式会社ローレルインテリジェントシステムズ	■ 50	1.63

中間株主資本等変動計算書 (平成18年8月1日～平成19年1月31日)

単位(百万円)

	株主資本						自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計	純資産 合計	
	資本金	利益剰余金				資本剰余金 準備金						資本準備金
		利益 準備金	繰越利益剰余金	特別償却準備金	別途積立金							
平成18年7月31日残高	394	423	27	2	40	386	△ 1	1,273	90	90	1,363	
中間会計期間中の変動額												
別途積立金の積立					300	△ 300						
新株の発行	17	17						35			35	
剰余金の配当						△ 44		△ 44			△ 44	
中間純利益						388		388			388	
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)								△ 15	△ 15		△ 15	
中間会計期間中の変動額 合計	17	17			300	44		379	△ 15	△ 15	364	
平成19年1月31日残高	411	441	27	2	340	430	△ 1	1,652	74	74	1,727	

中間キャッシュ・フロー計算書 単位(百万円)

	当中間会計期間
	自平成18年8月1日 至平成19年1月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 103
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 89
財務活動による キャッシュ・フロー	379
現金及び現金同等物の 増加額	186
現金及び現金同等物の 期首残高	651
現金及び現金同等物の 中間期末残高	837